

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆退職金税制に是正案、労働移動の促進期待

・正社員がより転職しやすい環境を整える方法として退職金優遇税制の改革も浮上。現行制度は同じ会社で長く働く人ほど恩恵が大きく、転職者は不利に。退職金税制は勤続年数が長いほど、退職所得の控除額が大きくなって税負担が軽減される。所得控除の額は勤続20年までは原則、1年あたり40万円ずつ増える。

◆正社員の転職が最多、24年99万人 若手ほど賃金増加

・正社員の転職が増加。2024年は99万人と前年から5%増え、比較できる12年以降で最多。20代後半から40代前半が多く、より良い待遇の企業に移る例が多い。企業は賃上げや職場環境の改善を続けなければ優秀な人材を囲い込めなくなっている。総務省の「労働力調査」を基に、1年以内の転職者で前職・現職ともに正社員の人数を集計。

◆消費者物価2月3.0%上昇 エネ補助で4カ月ぶり伸び縮小

・総務省が21日発表した2月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が109.7となり、前年同月と比べて3.0%上昇。電気・ガス代の政府補助が再開され、4カ月ぶりに伸び率は縮小。上昇は42カ月連続。市場予測の中央値は2.9%の上昇だった。今回伸びは縮んだものの、3カ月連続での3%台となった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆長野県、トラスコ中山や県内企業と災害時物資調達で協定

・長野県は機械工具専門商社のトラスコ中山や岡谷酸素、マルニシ、本久と災害時の資機材調達に関する協定を結んだ。災害時には県の要請のもと災害現場や企業・工場でニーズが高まる物資をトラスコ中山の物流拠点から即日出荷し、県内に複数の拠点を持つ岡谷酸素とマルニシ、本久が連携して被災地や工場に配送。

◆除雪・道路陥没対応に予備費615億円 除雪支援額は過去最大

・政府は2024年度予算の予備費から国土交通省関連として615億円の支出を決めた。大雪の除雪費の追加支援に471億円、埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故の復旧と再発防止策に144億円を配分する。このうち除雪への支援額は、当初予算を活用した追加配分を含め、過去最大の557億円を計上している。

◆リフォーム・リニューアル調査3Q 住宅の受注高8%増

・国土交通省が発表した2024年度第3四半期受注分の「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」によると、受注高の合計は前年同期比5.9%増の3兆2552億円となった。このうち住宅に係る工事の受注高は1兆46億円で同8.0%増加した。非住宅建築物に係る工事の受注高は2兆2506億円で同5.0%増加している。

《 注目商品 》

■DXアンテナ、ホームセキュリティに最適な「ワイヤレスカメラ」

・面倒な配線工事を不要とするワイヤレス設計を採用、外出先や離れた場所からスマートフォンやタブレットを通じてリアルタイムで映像・録画を確認できる。デザインにも威嚇効果を考慮、侵入者抑止効果が高いバレット型のデザインを採用。



■タカショー、設置が簡単なデッキ用シェード「シェードポーチサンレモ」

・屋根がないために設置したデッキを活用できていないという声を受け、簡単に設置できるデッキ用シェード「シェードポーチサンレモ」と「シェードポーチ用ウェイト」を開発。ウェイトを置くだけでポーチを設置できるため、床面へのボルト固定が不要。



■LIXIL、湿式製法タイルの「火色音」シリーズから意匠性を向上

・湿式製法タイルの主力製品である「火色音」シリーズから、質感や色などの意匠性を向上した「火色音 ひぼし」や「火色音 さわらび」の2商品を新たに追加し、発売開始。「火色音 ひぼし」は、日干しレンガをモチーフ、「火色音 さわらび」は、伝統のスクラッチ面状。

